

祝 第62回 活水高等学校卒業式

2010. 2. 17 (水)

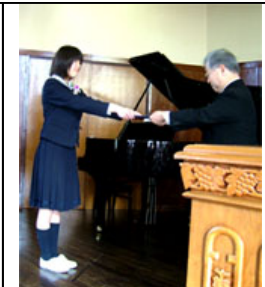
県内の高等学校のトップを切り、第62回活水高等学校卒業式が、本校チャペルにおいて行われました。

オルガンの伴奏で賛美歌を歌った後、神田校長より生徒一人一人に卒業証書が手渡されました。卒業生155人が、それぞれの思いを胸に学び舎から巣立ちました。

校長は、「新しい制服となり、最初の卒業式を迎え、新たな伝統を刻んでくれました。また、3年間で知性と品位・美しさを備えた活水レディーに成長してくれ、女性が如何に生きるか、女性としての生き方の魂に目覚めた皆さんの自立した女性としての社会での活躍を期待します。」との式辞がありました。

卒業生を代表して、麻生志保さんが、「活水で過ごした3年間の多くの思い出が、私達にとって大切な宝物です。個性や意見が自由に表現できる学校で学んだ私達は、これから先、強い絆で結ばれ、活水レディーとしての心を忘れず前に進んでいきます。」と感謝の言葉を述べると、涙を流す卒業生もいました。

卒業式にあたり、PTA・同窓会役員・保護者の皆様のおかげにて、厳かな卒業式を無事終了できたことを感謝いたします。ありがとうございました。



活水伝統の儀式である魂ゆずりの今年のリボンの色は、

・ 純潔を表す「白」色と

・ 神様からどんな時も与えられている希望の光を道しるべとして

自分の未来を切り開く強い意志と情熱を持った 女性になって
欲しいとの願いを表した「赤」色でした。

「活ける水」を汲む^{たあけ}手桶に2本のリボンを結んで、在校生に手渡されました。

